

第 225 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会の議事録

部会長 村山元理

日時 11月27日(第4月曜) 18:00~20:00

場所 企業家ミュージアム(東京都千代田区外神田2-2-19)

参加者 佐藤、山本、宇佐神、古山、辻井、市川、望月、村山

欠席届 新川、長塚、井上

議論: 交流例会報告: 田中一弘教授の「良心に基づく、企業統治論について」

儒学の良心論というが、陽明学との関係が不明。

ドーアの議論と似ている。

ガバナンスという用語は、政治学的にウィルソンが初めて使用したとされる。Harold Wilson 著 *Governance of Britain* 参照。

ガバナーという用具の重要性を東京ガス、東京電力の監査役の人々が強調していた。

発表: 村山 「学生による見和・見川商店会活性化案—歴史資源の活用」の紹介

水戸市見和・見川商店会の活性化を巡り、現況の他、地元的地誌、歴史などを概説した。彰考館・徳川ミュージアムなど水戸徳川家との関係(桜川史蹟、光圀公お手植えのしだれ桜)、茨城護国神社、日吉神社、妙雲寺(天狗党の大将となった武田耕雲斎の墓)、天狗党のスポンサーの記念碑があること、河和田の吉田神社(源義家の軍配団扇、県内に義家伝説が多いこと)、常陸国三ノ宮の吉田神社(日本武尊の伝説、石岡総社宮にも日本武尊の伝説あり)、見川城と河和田城の旧跡など歴史的資源を生かした活性化案が提案された。

- ・マスコミの利用

- ・一商店ではなく、地域全体の戦略や魅力の発信が大切。

継続審議『21世紀の経営倫理』

- ・出版社探しについて、人脈とコンテンツが大切との意見。

今後の予定 毎月第4月曜日

12月25日 テーマ未定

1月22日

2月26日